

より広く、より深く学ぶ！ —履修証明制度—

2007年度の学校教育法改正によって誕生した、社会人などを対象とした新しい履修・学修の証明が履修証明制度です。一定のまとまりのある学修プログラム（履修証明プログラム）を開設し、修了者に対して、法に基づく履修証明書を交付できるようになりました。

宇都宮大学が指定する特定の授業科目群（コース）を受講することで、ある分野に対して目的や関心を持ち、そのための学修を体系的に行ったことを認証します。履歴書にも記入できます。

2022年後期以降の受講科目にて、コースごとに指定された認証取得条件を満たして申請すると、「履修証明書」が交付されます。（2021年以前に受講した科目では認められません。）

特定領域コース【履修証明制度】（各コース定員5名）

特定の領域の科目を系統的に受講し、本学が履修証明を発行し、広く社会で生かすことができる学修を提供します。60時間以上の学修時間を満たしたと認められる場合は、学校教育法の定めにもとづく「履修証明書」を交付します。（3年間で履修します。）

A -3科目- 調査研究アナライザー コース (定員5名)	B -3科目- 経済分析モデレーター コース (定員5名)	C -3科目- 心理分析モデレーター コース (定員5名)	D -3科目- 多文化共生モデレーター コース (定員5名)
<ul style="list-style-type: none"> ▶社会調査法 ▶社会調査実習 ▶地域調査法 	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域金融論 ▶公共経済学 ▶経済分析入門 ▶農業経済学 	<ul style="list-style-type: none"> ▶教育心理学 ▶集団心理学 ▶対人コミュニケーション論 	<ul style="list-style-type: none"> ▶多文化共生論入門 ▶多文化理解論 ▶移民と多文化教育 ▶多文化共生コアA
E -3科目- 地域づくりコーディネーター コース (定員5名)	F -3科目- 防災コーディネーター コース (定員5名)	G -3科目- 地域福祉コーディネーター コース (定員5名)	
<ul style="list-style-type: none"> ▶まちづくり論 ▶生涯学習社会論 ▶希望の地域社会論 ▶地域福祉論 	<ul style="list-style-type: none"> ▶防災マネジメントI ▶防災マネジメントII ▶Disaster Studies(災害研究) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域福祉論 ▶児童福祉論 ▶社会福祉学概論 	

※E：地域福祉団体の活動をコーディネートする人材の育成に関心のある方々に適しています。

A 調査研究アナライザーコース（3科目）

社会調査や地域調査の基礎的知識を学び地域で調査研究の視点を持つ人材の育成を図ることを目的としています。（総時間数67.5時間）下記の科目を受講して必要な学修時間を満たしたときに、履修証明書が交付されます。地域での活動を展開する際に科学的根拠や裏付けをもって説明することに関心のある方々に適しています。「社会調査法」「社会調査実習」「地域調査法」の科目を受講します。

B 経済分析モデレーターコース（3科目）

経済に関する基礎的知識を学習して、経済額の専門知識を生かした地域経済活動を推進する人材の育成を図ることを目的としています。（総時数 67.5 時間以上）左記の科目を受講して必要な学修時間を満たしたときに、履修証明書が交付されます。主として地域の経済活動の活性化に関心のある方々に適しています。「地域金融論」「公共経済学」「経済分析入門」「農業経済学」から 3 科目以上を受講します。

C 心理分析モデレーターコース（3科目）

心理学に関する基礎的素養を身につけて、自らの人生を豊かなものとする事ができる人材の育成を図ることを目的とします。（総時間数 67.5 時間）左記の科目を受講して必要な学修時間を満たしたときに、履修証明書が交付されます。主として地域社会でのコミュニケーションの充実と一人ひとりの生活の豊かさや学びの質を高めることに関心のある方々に適しています。「教育心理学」「集団心理学」「対人コミュニケーション論」の科目を受講します。

D 多文化共生モデレーターコース(3科目)

多文化共生に関する基礎的な知識と多文化理解に関わる専門的な視点を身につけて、地域の国際化に対応して、人権教育や外国人の生活支援のコーディネートが可能とする人材の育成を図ることを目的とします。（総時数 67.5 時間以上）左記の科目を受講して必要な学修時間を満たしたときに、履修証明書が交付されます。主として在日外国人の生活支援や国際理解に関心のある方々に適しています。「多文化共生論入門」「多文化理解論」「移民と多文化教育」「多文化共生コア A」から 3 科目以上を受講します。

E 地域づくりコーディネーターコース（3科目）

地域づくりに関する基礎的な知識と地域づくりに関わる社会教育理論を学ぶことにより、地域の人のつながりを創り出す事業の企画立案を進める人材の育成を図ることを目的とします。（総時数 67.5 時間以上）左記の科目を受講して必要な学修時間を満たしたときに、履修証明書が交付されます。主として自治会での活動や地域福祉団体の活動をコーディネートする人材の育成に関心のある方々に適しています。「まちづくり論」「生涯学習社会論」「希望の地域社会論」「地域福祉論」から 3 科目以上を受講します。

F 防災コーディネーターコース（3科目）

地域防災に関する専門的知識を学び地域の防災計画や防災事業を企画立案するなどのコーディネートを担う人材の育成を図ることを目的とします。（総時間数 67.5 時間）左記の科目を受講して必要な学修時間を満たしたときに、履修証明書が交付されます。主として地域防災や防災プログラムの企画立案に関心のある方々に適しています。「防災マネジメントⅠ」「防災マネジメントⅡ」「Disaster Studies（災害研究）」の科目を履修します。

G 地域福祉コーディネーターコース（3科目）

地域福祉に関する基礎的素養を身につけて、地域福祉計画の企画立案、地域福祉活動のコーディネートを担う人材の育成を図ることを目的とします（総時間数 67.5 時間）。左記の科目を受講して必要な学修時間を満たしたときに、履修証明書が交付されます。主として地域の高齢者サロンや地域福祉の担い手育成に関わる人材の育成や地域福祉そのものに関心のある方々に適しています。「地域福祉論」「児童福祉論」「社会福祉学概論」の科目を履修します。